

第12回 日本末梢神経学会学術集会

プログラム・抄録集

2001年・大阪



会期：平成13年8月25日（土）

会場：ホテルグランヴィア大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田3-1-1

Tel. 06-6344-1235 Fax. 06-6344-1130

会長 高橋光雄

近畿大学医学部神経内科

ご 挨拶

今世紀の初頭におきまして第12回日本末梢神経学会学術集会の会長を務めさせていただくことは誠に光栄であります。本学会は1990年以来、現理事長祖父江逸郎先生を中心として、末梢神経障害を専攻する神経内科、整形外科、産業医学の先生方により組織されてまいりました日本末梢神経研究会を今年度から学会として改組し、新たに出発するものであります。これまで毎年8月の末に東京、名古屋、京都、仙台、九州などで開催されてきましたが、今回初めて大阪で開くことになりました。

特別講演として Mayo Clinic の PA. Low 神経内科教授により自律神経障害の進歩に関するご講演をいただくことになっています。また産業医学の特別講演として市原 学先生から新しいフロン代替溶剤のプロモプロパンによる神経中毒の話題提供があります。整形外科と神経内科その他の領域のエキスパートが学際的に討論する場として、“神経再生” および“手根管症候群”に関連するシンポジウムが組み立てられており、具体的な治療法も検討されます。また最近、研究・治療の進歩が著しいギラン・バレー症候群について最前線の先生方にご討論いただくことになっています。ランチョンセミナーとして芳川浩男先生から CIDP の治療の進歩に関する講演があります。一般演題も整形外科学的疾患、遺伝性ニューロパチー、糖尿病性ニューロパチー、自己免疫性ニューロパチーなど興味有る内容の演題が寄せられています。若い先生方をはじめ各方面の多数の先生方のご参加を心よりお待ちしております。

最後になりましたが、本学会の開催にあたり多大のご支援を賜りました諸企業の方々、また企画運営にご指導、ご協力いただきました役員の先生方ならびに事務局、関係者各位の方々に深く御礼申し上げます。

2001年8月25日

第12回日本末梢神経学会学術集会

会長 高橋光雄

第12回日本末梢神経学会学術集会プログラム

平成13年 8月25日 (土)

会場名：名庭の間 (20階)

開会の辞 8:55

公募演題-1 9:00~9:40

遺伝性ニューロパチー

座長 祖父江 元
(名古屋大学医学部 神経内科)

公募1-1 運動優位型ポリニューロパチー、特異な腓腹神経生検所見を呈した FAP type I TTR-Met³⁰ homozygote の1例

金沢医科大学 神経内科 山谷 洋子 他

公募1-2 末梢神経障害、知能低下、低アルブミン血症を伴う遺伝性小脳性失調症の末梢神経所見および分子遺伝学解析

札幌医科大学 保健医療部 館 延忠 他

公募1-3 Charcot-Marie-Tooth 病 type1A (CMT1A) における転写調節因子の発現に関する検討

康生会武田病院 神経内科 川崎 照晃 他

公募1-4 マクロファージスカーベンジャー受容体を介する変性ミエリン処理機構

大阪厚生年金病院 神経内科 芳川 浩男 他

公募1-5 PO +/- マウスにおける胸腺内 PO 発現低下と EAN 感受性の亢進

国立精神神経センター 免疫研究部 宮本 勝一 他

公募演題-2 9:40~10:20

糖尿病性ニューロパチー その他

座長 後藤 由夫
(東北厚生年金病院 名誉院長)

公募2-1 糖尿病性ポリニューロパチーにおける感覚神経活動電位の臨床的意義

和歌山県立医科大学 第一内科 山崎 浩 他

公募2-2 軸索型ニューロパチーを表わす神経伝導検査指数

横浜市立大学市民総合医療センター 安全管理室 長谷川 修 他

公募2-3 糖尿病ラットの皮膚痛覚線維活動

名古屋大学環境医学研究所 神経性調節分野 佐藤 純 他

公募2-4 Nonsystemic vasculitic neuropathy の臨床病理学的特徴
名古屋大学 神経内科 杉浦 真 他

公募2-5 強皮症を伴った末梢神経障害の病理所見
兵庫医科大学 第五内科 奥 智子 他

産業医学特別講演 10:20~10:40 座長 竹内 康浩
(放射線医学総合研究所 緊急被ばく医療センター)

市原 学 他 (名古屋大学医学部 環境労働衛生学)
- プロモプロパン中毒による神経障害の症例とその機序について -

準備 10:40~10:45

シンポジウム1 10:45~12:15 座長 古和 久幸
(北里学園本部 名誉教授)
長野 昭
(浜松医科大学 整形外科)

末梢神経障害からの再生・修復

S1-1 末梢神経再生の足場
三重大学 整形外科 平田 仁 他

S1-2 末梢神経の再生と人工神経の開発
東京医科歯科大学 整形外科 若林 良明 他

指定発言

指定1-1 ラット坐骨神経切断後の機能修復の過程における開口放出制御蛋白質の関与について：
発現量からの検討
杏林大学 整形外科 工藤 文孝 他

指定1-2 凍結解凍筋・圧延した腱への培養シュワン細胞の移植は軸索再生を促進する
筑波大学 整形外科 西浦 康正 他

S1-3 末梢神経障害と神経栄養因子
名古屋大学 神経内科 山本 正彦 他

S1-4 家族性アミロイドポリニューロパチー：肝移植後の末梢神経病変
信州大学 第三内科 池田 修一

S1-5 脳幹電極インプラントによる聴神経障害の治療
虎の門病院 耳鼻咽喉科 熊川 孝三 他

準備 12:15~12:20

評議員会 12:20~12:40

昼食休憩時間 12:40~12:50

ランチョンセミナー 12:50~13:30
座長 西谷 裕
(康生会武田病院 名誉院長)

芳川 浩男 (大阪厚生年金病院 神経内科)
- CIDP 治療の進歩 -

総会 13:30~13:40

会長講演 13:40~14:00
座長 祖父江 逸郎
(名古屋大学・愛知医科大学 名誉教授)

高橋 光雄 (近畿大学医学部 神経内科)
- 糖尿病性ニューロパチーの治療に対する期待 -

特別講演 14:00~14:40
座長 八木橋 操六
(弘前大学医学部 病理学教室)

Phillip A. Low (Department of Neurology, Mayo Clinic)
- Update on the autonomic neuropathies -

休憩 14:40~14:50

シンポジウム2 14:50~16:00
座長 平澤 泰介
(京都府立医科大学 整形外科)

井上 聖啓
(東京慈恵会医科大学 神経内科)

手根管症候群に対する挑戦・整形外科と神経内科との接点 (画像を中心として)

S2-1 手根管症候群の神経伝導検査
横浜市立大学市民総合医療センター 安全管理室 長谷川 修 他

- S2-2 手根管症候群と保存的治療
駿河台日本大学病院 整形外科 長岡 正宏
- S2-3 手根管症候群と minimally invasive surgery
川崎市立川崎病院 整形外科 堀内 行雄 他
- S2-4 手根管症候群の内視鏡的治療
日本赤十字社医療センター 整形外科 奥津 一郎

公募演題-3 16:00~16:24
手根管症候群
座長 矢部 裕
(国家公務員共済組合立川病院 院長)

- 公募3-1 手根管症候群患者における紋扼遠位部および近位部軸索変性の検討
横浜市立大学 脳神経外科 権藤 学司 他
- 公募3-2 神経線維束に捻じれを呈した正中神経麻痺例の治療経験
社会保険徳山中央病院 整形外科 住浦 誠治 他
- 公募3-3 手根管症候群の屈筋腱滑膜における LARGE PROTEOGLYCAN の発現
鈴鹿回生総合病院 整形外科 富田 良弘 他

準備 16:24~16:30

シンポジウム3 16:30~17:50
座長 有村 公良
(鹿児島大学医学部 第三内科)
楠 進
(東京大学医学部 神経内科)

ギラン・バレー症候群および類縁疾患 - 臨床と研究の最前線 -

- S3-1 診断と疫学
北里大学東病院 神経内科 斎藤 豊和
- S3-2 脱随性神経炎の神経伝導異常
弘前大学 脳研神経統御部門 馬場 正之
- S3-3 軸索型ギラン・バレー症候群の電気生理
千葉大学 神経内科 桑原 聡

